

ごみの減量に取り組もう！

悲鳴をあげる道前クリーンセンター

当市のごみ処理を担う道前クリーンセンターは、年間5億円以上もの維持費用が必要です。当市は県内で最もごみの量(※)が多く、稼働開始から27年が経過して老朽化が進む当施設への負担も大きくなっており、故障が多発しています。そのため、修繕費用も毎年約1億5千万円かかり、財政を圧迫している状態です。

この問題を解決するためには、ごみの分別や減量が必要です。まずは雑がみ、生ごみなどの分別・減量から始めましょう！

※1人1日当たりの排出量（環境省の平成28年度一般廃棄物処理実態調査から）



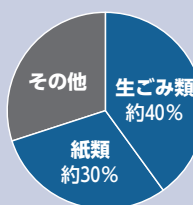
▲道前クリーンセンターで処理されるごみの山

今日からできる

ごみ減量大作戦

雑がみの分別、生ごみの減量方法について紹介します。

もえるごみの
ほとんどは、
生ごみと紙です！



当市のもえる
ごみの重さ割合▶

その1

紙はリサイクル

家庭でたくさん出る紙ごみの多くは「雑がみ」として分類、リサイクルできます。リサイクルした雑がみは段ボールの原紙になります。



●リサイクルできる 雑がみの例

- ティッシュペーパーの箱
- トイレットペーパーの芯
- 菓子・食品などの箱
- プリントや書類
- 包装紙
- はがき
- 封筒
- ノート
- カレンダー
- メモ用紙



雑がみを紙袋に集めておき…



紙袋のまま、ひもでしばり
古紙収集日に出しましょう



雑誌と一緒に
しばっても出せます

回収できない紙もあるのでご注意ください！

- 牛乳パックやアイスクリーム容器など防水加工されたもの
- 洗剤の箱など汚れやおいがついているもの
- 感熱紙や写真など特殊加工されたもの

その2

生ごみは水切り

生ごみの約70%は水分です。水分が多いほど、燃やすためのエネルギーと時間が必要。水分をなくすためにひと工夫してみましょう。

●野菜は洗う前に皮むき



●水切りネットを活用



悪臭や腐敗防止
にも効果的！



▶水切り前

▶水切り後

280g

200g

水切りで
こんなに重さ
が変わります